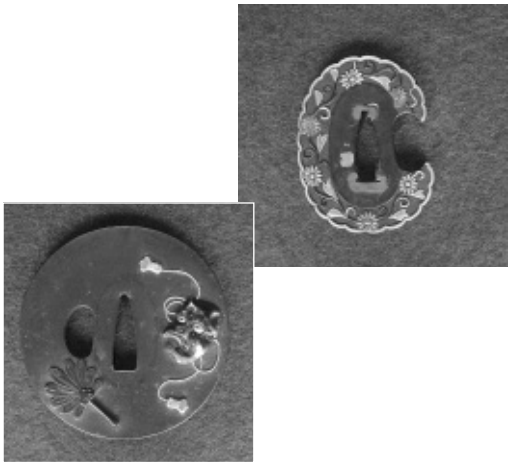
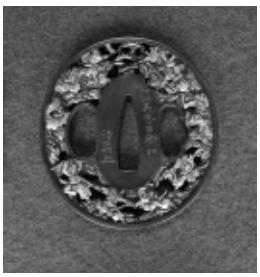
企画展

『鐔　武士の美』開催中

八朔祭の大名行列や時代劇などで使われている刀には必ず鐔が付いています。みなさんは、その鐔がどのような形で、どんな模様が付けられているか見たことがありますか？江戸時代以前に武士が使用していた刀の鐔は、武士により一人ずつ異なる形や模様のものでした。

今回の企画展『鐔　武士の美』では、鐔に込められた細密な工芸美と武士の個性を鑑賞することができます。鐔は刀装具のひとつとして、刀剣に不可欠な部位であるとともに、武士の個性を表すものとしても重用されてきました。細密な技巧が凝縮された工芸品としても見る人を楽しませてくれます。地域や製作者による形状や製作技法の違いのほか、武士のこだわりや美的な趣向が顕著に表れております。細密工芸への親しみと先人たちの美的感覚の崇高さを感じていただければ幸いです。





会　　期	10月30日(日)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
観 覧 料	一般　300円(210円)
	高・大学生　200円(140円)
	小・中学生　100円(70円)
	(　)内は20名以上の団体料金です。
休 館 日	月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館し翌日が休館)、第三火曜日、祝祭日の翌日

※分館「増田誠美術館」と共通券です。

増田　誠美術館

「増田　誠 版画の世界」

会　期　9月25日(日)まで

「女王」特殊版画原版

版画の技法には、銅版画(エッチング・ドライポイントなど)、石版画(リトグラフなど)ほか、さまざまな方法があります。

増田画伯は、そうした一般的な技法をふまえながらも、自らのアイデアをもとに、ボール紙やアクリル板など多様な素材を使い、「マスダ流」ともいえる独創的な作品を創り上げました。

増田画伯が版画の世界に踏み込むきっかけとなったのは、1960年代初め、イギリスの版画家ヘイター氏と親交をもったことでした。その後、1964年(東京オリンピック開催年)より本格的に版画制作を始めます。

1970年代初め、銅版画家の渡会純价(わたらいじゅんすけ)氏から譲られたプレス機を用いて、銅版画の製作に没頭するうち、思いつくままに毛糸や針金などを使い、手彩色をも施して、技法の壁にとらわれない作品を生み出していきました。また後には石版画にも挑み、「旧約聖書」「ギリシャ神話」「王様と王妃」のシリーズを完成させました。

今回の展示では、増田画伯の版画の原点とも言うべきプレス機をはじめとして、画伯が実際に使用した道具や作品を通して、銅版画の製作工程をご理解いただける内容となっています。

「融通無碍(ゆうずうむげ)（自由自在に物を見、考え、よりよく対応していくということ)」増田誠の版画の世界をお楽しみください。

お茶壷道中行列出演者募集

お茶壷道中とは、江戸時代、宇治へ採茶使を赴かせて将軍家御用の新茶を江戸へ運ばせた行列をいいます。谷村藩主秋元公の時代に、茶が湿気と暑さが何よりも大敵とされる中で、茶壷を夏の間保存する場所として谷村勝山城が選ばれたことにより、道中の帰路の中山道―甲州街道がお茶壷道中のコースとなり、毎年谷村にお茶壷道中が訪れたものであります。

当時「お茶蔵」は全国で唯一のものであり、勝山城に保管された「お茶」は最高級の品物であったそうです。

この貴重な歴史・文化遺産であるお茶壷道中行列を忠実に再現する一役を担ってみませんか。

出演日　10月30日(日)

募集人員　中学生以上の男女30名

抽選発表　応募者が多数の場合は、抽選のうえ当選者への通知をもって発表にかえさせていただきます。

応募締切　10月17日(月)

申込・問合先　お茶壷道中実行委員会　行列部会　餌取　☎(43)3451